

こんな声がありました！

天然ゴム手袋にひび割れが…。「天然ゴムとオゾンのお話」



CO-OP



あれっ、ゴム手袋に穴があいている！水がしみてきちゃった…。

本当だ！よく見るとひび割れているところもあるよ。



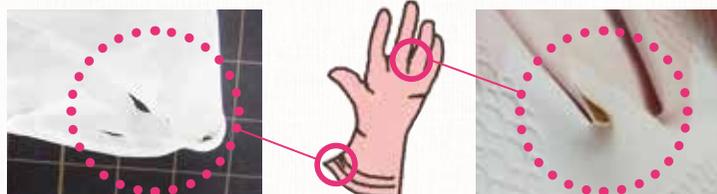
この前はなんともなかったのに。まだ、そんなに使っていないのになあ。

どうしてこんなになっちゃったのかなあ。



天然ゴムは空気中のオゾンで分解されやすいんじゃ！

天然ゴムは柔らかく伸縮性のある素材で、さまざまな家庭用品に使用されており、フィット感のある手袋をつくるのに適しています。その一方で、天然ゴムは空気の中に微量に含まれるオゾンに触れると、分解されてもろくなり、亀裂やひび割れが生じたり、穴があいてしまったりすることもあります。



POINT 保管方法に気をつけましょう！

保管方法によっては1週間ほどでひび割れなどの劣化が生じてしまうことがあります。そのため、次のことに気をつけましょう。

- 屋外や風通しの良いところは避けましょう。
- 電化製品のそばも要注意！
空気清浄機などのオゾンが発生しやすい電化製品のそばにあると、劣化が進むことがあります。
- 使わないときはポリ袋へ！
長期間使用しない場合には、ポリ袋などに入れて空気に触れにくいようにするのも良い方法です。

豆知識

天然ゴムはどうして分解されてしまうの？

天然ゴム素材は、ゴムの木から採取した樹液に、硫黄(イオウ)を使ってゴム分子の構造を変化させることでつくられます。このようにすることで、伸び縮みする、しなやかな素材にすることができます。オゾンには、硫黄を加えたゴム分子の構造を壊してしまう性質があるため、オゾンに触れているとゴムの伸縮性や柔軟性がだんだんと失われてしまいます。古くなった輪ゴムが切れてしまったり、天然ゴムは土に還りやすい素材だといわれているのもこの現象のためです。

天然ゴムは環境にやさしい素材なんだね。

